

ま ち の 話 題

高齢者料理教室開催

8月22日、総合保健福祉センター「あすてらす」で、男性限定の「高齢者料理教室」が開催されました。講師は市学校給食課の男性調理員で、17名が参加。参加対象は60歳（高齢者と呼ぶには失礼）以上で、最高齢者は88歳でした。

献立は、「鶏ささ身の葛たたき」「南瓜の茶巾しぼり」「鮭ときのこのホイル焼き」「もずく汁と盛りだくさんの四品。年配でも揚げ物や炒め物など高カロリー、の食生活の傾向にある昨今、和食を基本にアレンジを加えたものになりました。

参加者からは、料理は献立や段取りなど考えることが多く、脳の刺激にもなる」などの感想が聞かれました。

また、調理員からは、「いつもは子どもの給食を作っているが、このような料理講習会は新たな励みになる」との声も。和気あいあいと楽しく調理された参加者の皆さん、これからも自分で料理を作り、健康に気をつけ楽しい生活を送ってください。



▶包丁さばきもなかなかのものです



敬老祝賀会



▲平安市長から祝状を受けとる中原カスミさん

敬老の日を前にした9月15日、三沢長生園（柳道子園長）で敬老祝賀会が開催されました。新100歳を迎えた中原カスミさんは、内閣総理大臣や県知事、市長からの祝状や記念品を受け取り、感謝していました。

また、同園の最高齢者である酒村シカノさん（103歳）が、入園者を代表して、元気に感謝の言葉を述べると会場からは、お祝いの拍手がわきおこりました。その後入園者は、地域のボランティア団体の歌や踊りを鑑賞して、楽しい一日を過ごしました。

全国家庭婦人バレーボール大会へ



▲「みくにシニア」の選手の皆さん

バレーボールチーム「みくにシニア」（中田紀子監督）の選手7人が、10月5〜7日に福井県で行われる、第19回全国家庭婦人バレーボールいそじ大会への出場参加選手12人を平安市長へ報告しました。8月11日に行われた県予選でみくにに優勝し、福岡県代表として全国大会に出場します。

みくにシニアチームは、週に2回、大原中や三國中の体育館で練習しており、キャプテンの内野こずえさんは、チームワークが良いのが勝つ秘訣と話していました。全国大会でもチームワークの良さを発揮して、頑張ってもらいたいものです。